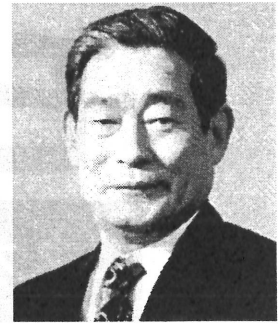


ボンド磁石発展の好機、 今こそ次の手を考え、実行しよう。

JABM 会長
原田 英樹



昨年来の日本を覆っていた不況の影が、政府の種々の施策やIT関連の技術の進歩などにより、明るく晴れつつあります。ボンド磁石業界は各社ともおおむね多忙な日々を過ごしておられることと考えます。i-mode 携帯電話の爆発的な普及、デジタルテレビのスタート、省エネの進行、高精細デジタルプリンタ指向など21世紀を支えるボンド磁石にとっては全てプラスに作用しております。本年はほぼ間違いなく10%以上の成長を確保出来るものと確信しております。波に乗る関連企業の増収増益予想の発表も多く見られるこの頃です。この好機にこそ将来を見据えた中長期の手を考え、実行して行くべき時と信じます。

経営トップの確信される経営戦略に沿い、確立できている基盤技術に支えられた、特色ある自社の技術による新製品を、中長期に展開したいと考えます。市場動向もグローバルに徹底的に調査し、決定した方向に人材を投入したいと考えます。協会は最新技術および市場動向を、可能な限り速やかに会員の皆様にご紹介し、経営のお役に立ちたいと考えております。今後ともどうかご支援をお願い申し上げます。

昨年完成したボンド磁石ガイドブックを利用して、本年より基本の勉強会を始める予定です。新技術はどんどん先に進みますが、基本をつい忘れがちです。今一度基本を見直し、ボンド磁石とは、磁性材料とは、磁気とは何かを考えたいと思います。是非ご賛同いただき、多数の皆様方のご参加をお願い致します。若い新人の方ばかりでなく、今一度磁石事業を考える良い機会にするため、経験豊富な方々も、ご参加いただければ、ありがたく存じます。

ここ2-3年来企画し、努力してきた世界のボンド磁石の生産統計はようやく形が整ってきました。本年以降も更に精度の向上を目指し、また理解しやすい様に加工することも考えます。関係する皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。本年も12月のシンポジウムの前に講演される海外の講師の方々にご参加いただき、市場動向の討議を行う予定

です。実りある討議とし、グローバルな生きた情報にしたいと思います。

欧米では事業の新展開、整理統合にM & Aを盛んに用います。最近も身近な企業にその例を見ました。その基本はやはり企業トップの経営戦略に沿ったものであるべきで、この線に沿っておれば、成功の確率は高いと思います。何れにしる新材料、新用途、など新製品が活発に動いているBM協会関連企業の皆様の更なる発展は間違いのないものと確信致します。今後とも引続きグローバルに開かれた、最新情報のBM協会をご支援よろしくお願い申し上げます。